募集中 川柳

第32回

お題「日記」北野 哲男 選

応募数 21名39句

評価ポイント ＊以下（評ポ）

最優秀句

今日生きた証をのこす日記帳
桑原 太治野みゆき
（評ポ）粉飾のない日記は貴重

優秀句

昨日今日明日の自分を記す日記
打坂 坂下悦治
（評ポ）「の」→「へ」・「を」をとる。反省と決意が読める。

脳トレで一日遅れに書く日記
東岡屋 小山禎子
（評ポ）「で」→「と」効果はあるはず。

読み返す父の日記が道しるべ
味間奥 田中正士
（評ポ）今なら素直に。

《総評》
・全体に同相句が多い。
・定型（五七五）にする努力を。
・俳句調にならない様に口語体を活用。

＊前号で誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
（誤）山内俊朗氏 ⇩ （正）内山俊朗氏

次号のお題「五輪」4月20日〆切

中央公民館・城東公民館・多紀支所・西紀支所・今田支所まで持参・郵送・Faxでご応募ください。
句とお名前にふりがなを書いてください。
また、お一人様2句までの応募とさせていただきます。

一生勉強一生青春 Vol.29

人生の学びの場は十人十色。学びや経験、感じたことを生かして輝いている方を“数珠つなぎ方式”でご紹介します。今回登場した方が「エールを送りたい」と思う人を、次回ご紹介します。…次は、あなたかも！？

大西 理香 さん（今田）

「食材は食べるだけじゃない！」

丹波篠山で生まれ育った大西さん。現在、栄養士・野菜や果物で着色するアイシングクッキー講師として活躍中です。３人の息子さんの子育ての傍ら、アイシングクッキーの教室やビニール袋を使った防災クッキングの講演をされるなど、食の分野で幅広く活動されています。

調理師としてお客様に料理を提供していた頃、デザートづくりの担当になったことがきっかけで、昔大好きだったクッキーづくりを思い出しました。そこで、食との関わり方を考えるようになりました。「作って売る以外の食への関わり方」があるのではないかと。

そこで栄養の勉強を一からやり直し、栄養士の資格を取得しました。栄養士としてアレルギーや幼児食の仕事をする中で、子どもが喜ぶような見ても楽しく食べて美味しいものを作りたいと思っていました。そこで、本格的に食材を使った着色に挑戦し始めました。たとえば、苺を使って赤色を作ったり、ほうれん草を使って緑色を作ったり。そして、食材による着色は色がつくだけでなく、その味や香り、栄養も摂ることができるので、その食材の特色を全て生かすことができます。ただ、食材での着色はその食材を乾燥し細かく砕いて、パウダー状にしますので、たくさんの食材が必要となります。多くの農家の方々に助けていただきながら作るお菓子は、いろいろな方の思いが詰まっていて、より一層おいしくいただくことができます。

丹波篠山の食材の持つ味・色味・栄養のすごさを生かしながら、より一層おいしいものを作るために、手作りの研究に熱が入ります。

【記者より】
大西さんの作るお菓子は様々な色をしています。しかし、どれも着色料を使っていないのだから驚きです。見て楽しい、食べて美味しいものを作るにはさまざまな人とのかかわりがあるのだと知りました。（M）

次回は **青葉 総示さん** です！

次のバトンはこの人に託します！

編集後記

今回の「四季の森通信40号」は、市制20周年を記念して開催しました「桶ット卓球世界大会」の模様や、令和２年度に実施する公民館事業の魅力やPRなど、取材による皆さんの声や、これまでの受講生のご意見を取り入れ作成しました。令和２年度も多くの皆さんに公民館事業にご参加いただくことを期待しております。さて、ここからは私事になりますが、以前、公民館に約９年間勤務した後、別の部署で勤務しておりましたが、ご縁があり、５年ぶりに再び公民館勤務となりました。この１年間、以前にご縁のあった皆さんより「お帰り。またよろしく！」や「お久しぶり。元気に頑張ってた？」など、温かく声を掛けていただきました。また、新しいご縁によりお会いする皆さんからは、「これからよろしくお願いします。」と温かくお迎えをいただきました。「昔からのご縁」と「新しいご縁」。さまざまなご縁を大切にしながら、精進して参りたいと思います。（竹）

丹波篠山市公民館だより 第40号

四季の森通信

発行元
丹波篠山市立中央公民館
丹波篠山市網掛429
TEL079-594-1180
館長 谷掛昭二
令和２年３月19日

Topics =最近の出来事=

丹波篠山市市制20周年記念イベント
世界の皆さん“アーユー OK（桶）？”
丹波篠山のご当地温泉卓球（通称桶ット卓球）を世界12か国の皆さんと楽しみ、盛り上がりました。

桶ット卓球世界大会 in 丹波篠山

決勝戦の様子

２月15日に市制20周年・丹波篠山市誕生を記念して、丹波篠山市発祥のご当地卓球「桶ット卓球」の世界大会を四季の森生涯学習センターにて開催しました。12か国の方々の参加があり総勢182人の選手で大いに盛り上がりました。

桶ットを知らない方も、経験者も、国を超えて参加者全員が和気あいあいと楽しみながら、丹波篠山市で心が１つになりました。

閉会式終了後は、餅撒きを行い、袋に番号が書かれた餅を拾われた方に同じ番号の景品を贈りました。

会場はさらに盛り上がりを見せ、参加者の熱気が最後まで溢れていました。

↑餅を撒く酒井市長

大会結果

総合部門 **優勝**「奥山チーム」**準優勝**「チーム道子道夫」**第３位**「市卓2」 **国別部門** **優勝**「奥山チーム（日本）」**準優勝**「インマニエル（フィリピン）」**第３位**「ナムロング（ベトナム）」

コスプレ賞「お弓 喜蔵 参上でござる（日本）」「チーム麻婆茄子（フィリピン）」 **ベストパフォーマンス賞**「チーム仙崎蒲鉾（日本）」「チームスマイル（フィリピン）」

↑総合部門優勝、準優勝、第３位チーム

↑国別部門優勝、準優勝、第３位チーム

練習中の選手に直撃インタビュー！

↑２月６日の練習中のALTシスターズ

練習中の「ALTシスターズ」で、トリニダード・トバゴ出身、来日２年目のサーディアさん（写真中央）は、「オケットタノシイデス」と日本語でお話いただきました。

緊急告知「第８回ご当地温泉卓球全国大会」丹波篠山市で開催決定

桶ット卓球世界大会に続き、この夏「第８回ご当地温泉卓球全国大会」が、ここ丹波篠山市で開催されることが決定いたしました。本年７月上旬に「こんだ薬師温泉 ぬくもりの郷」にて、桶ット卓球をはじめ全国各地の温泉卓球がここ丹波篠山に集います！オリンピックイヤーにふさわしい大会になること間違いなし！詳細は近日発表いたしますので乞うご期待！

Info =公民館からのお知らせ=

まずは一歩！
ご興味があれば是非公民館へお問合せください。

丹波ささやまおもしろゼミナールに潜入調査!!

～おもゼミってどんなことしてるの？～

皆さん「丹波ささやまおもしろゼミナール」をご存知ですか？ここ丹波篠山市内には知っているようで知らなかった文化財や歴史のある資源がたくさん残っています。例えば、明智光秀丹波攻めの舞台となった城跡を見学する「山城めぐり」や、寺社などに残された「狛犬めぐり」、大自然に残された樹木などをめぐる「名木巨木めぐり」などさまざまな各所旧跡などを約１日かけて見学するツアーを実施しています。

実際に受講された多くの方のアンケート結果からみても丹波篠山の新たな魅力を感じられています。

今年も参加者募集の時期を迎えました。興味のある方、ぜひ参加してみませんか？

たくさんの参加応募をお待ちしています。

昨年の
「山城めぐり」の様子

郷土味学講座　創造・伝承コース

～丹波篠山の豊かな食材でつなぐ未来
味を創り出そう　味を伝えよう～

をテーマに、各コース５回/年 の調理実習です。楽しく、美味しく学びます。
令和２年度も好評開催！ご応募下さい！

：参加受講生の声：

美味しい料理が出来ました。家でも作ってみます。

本格的な作り方を丁寧に教えていただきました。

楽しく、初めての経験が出来ました。

【写真】令和元年度 創造コース：そば打ち体験会

古文書入門講座で当時の暮らしと歴史を学ぼう！

～初心者を対象とした講座です～

古文書は、江戸時代や昔の暮らしを知るための大切な記録です。市内には、まだたくさんの古文書が眠っているといわれています。その大切な古文書を楽しく学んで読めるようになったら、もっと歴史が楽しくなること間違いありません！専門の講師が古文書にまつわるエピソードを加えて分かりやすく教えます。

大切な古文書を楽しく学び、守り生かすため、ぜひこの講座に参加いただくことをお勧めします！

昨年の講座の様子

丹波ささやま市民文化講座の受講生大募集!!

～丹波篠山市の豊かな文化を感じてみませんか?～

丹波ささやま市民文化講座では毎月（６月から12月）計７回講座を行い、その内２回は現地学習（７月と10月）を行っております。

令和２年度の講座には「波多野秀治、明智光秀」に関連した講座も計画しています。

また、大人気の現地学習の主な行き先として、1回目（7月）は鶉野飛行場跡（加西市）の軍事施設跡を見学した後、兵庫県立考古博物館（播磨町）で遺跡などの学習をします。2回目（10月）は、勝竜寺城公園（京都府長岡京市）散策と今城塚古代歴史館（大阪府高槻市）で、古墳などを学習します。現地学習での楽しみは現地ガイドの解説に留まらず、昼食も毎回大変おいしいと受講生からお声をいただいております。

たくさんのお申し込みをお待ちしております。

［昨年度の現地学習］
←現地学習①
【彦根城】

現地学習②→
【談山神社】

丹波ささやまおもしろゼミナール

歴史・文化・自然に直接触れて学ぶ現地講座です。五感を使って新たな丹波篠山に触れてみませんか?

回	と　き	講　座　名 講師（敬称略）	内　　容 見学箇所［予定］＊今後変更される場合があります。
1	6月16日（火）	おもしろ狛犬めぐり	市内の表情豊かな一風変わった狛犬を紹介します。
		土性　清隆	市内　東部方面
2	7月21日（火）	名木・巨木めぐり	市内西部方面に点在しています名木･巨木をめぐり、木々に残された歴史を探ります。
		樋口　清一	市内　西部方面
3	8月18日（火）	和紅茶プレミアム体験	丹波篠山産の茶葉を使用した和紅茶づくり体験です。
		中尾　真紀子	市内　味間地区ほか
4	9月15日（火）	民話の里めぐり	古に思いを馳せながら、民話の生まれた里をめぐります。
		語りべサークル　ふるさと	市内
5	10月20日（火）	車塚と古墳群めぐり	車塚古墳とそれに続く古墳を考古学的手法を用いてその歴史的意味を解き明かします。
		池田　正男	市内　東部方面
6	11月10日（火）	山城めぐり	今年の大河ドラマの主人公・明智光秀と戦った荻野（赤井）直正一族の史跡をめぐります。
		田中　豊茂	丹波市春日町
7	12月15日（火）	丹波焼の窯跡めぐり	日本六古窯のひとつ「丹波焼」の窯跡をめぐります。
		河野　克人	市内　今田町地区ほか

※都合により内容などを変更する場合がありますが、ご了承ください。

時間・ところ　各講座により異なります。詳細は決まり次第連絡します

対　　象　市内在住または在勤・在学の方

定　　員　各講座30人（１人３講座まで受講可能）

受 講 料　1講座につき1人500円
（ただし、入館料など実費負担があります）

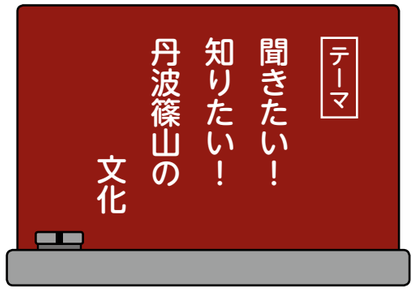
申込期限・申し込み方法　6ページ下部に掲載

丹波ささやま市民文化講座

豊かな里山、丹波篠山を基点に学ぶ愉しさを様々な分野に求め享受し、驚きと発見の中で豊かな文化の継承と新たな文化を創造するため、年間5回の講座と2回の現地学習を開催します。

回	と　き	内　容	講　師(敬称略)
1	6月　4日(木)	★開講式 【対談トーク】 青山家を語る　～その教育と文化～	青山家第26代当主　青山　忠博 丹波ささやま市民文化講座 アドバイザー 今井　進
2	7月　2日(木)	【現地学習① -兵庫県(加西市・小野市・播磨町)方面-】 鶉野飛行場跡・浄土寺・兵庫県立考古博物館	
3	8月　6日(木)	波多野秀治の末裔を訊ねる	郷土史研究家　大森　作之
4	9月　3日(木)	丹波攻めと明智光秀の謎にせまる	福知山光秀ミュージアム 学芸員　芦田　岩男
5	10月　1日(木)	【現地学習② -京都府長岡京市・大阪府高槻市方面-】 勝竜寺城公園・今城塚古代歴史館・史跡新池ハニワ工場公園	
6	11月　5日(木)	丹波篠山市の中世的な祭り	民俗芸能学会評議員　久下　隆史
7	12月10日(木)	★閉講式 パート7 古文書に見る災害の記録	丹波ささやま市民文化講座 アドバイザー　今井　進

※日程・演題・講師は都合により変更となる場合があります。



時　　間　13:30 ～ 15:00
※現地学習は終日。

と こ ろ　丹波篠山市民センター・2階・多目的ホール
※現地学習を除く。
※駐車場に限りがありますので、乗り合わせ、もしくは公共交通機関をご利用ください。

対　　象　市内在住または在勤・在学の方

定　　員　250人

受 講 料　年間1,500円(別途、現地学習参加費が必要)
現地学習①の参加費7,200円(昼食代を含む)
※受講料と現地学習参加費は、開講式の受付でお支払いください。
※10月の現地学習②の参加費は、別途ご案内します。

申込期限・申し込み方法　6ページ下部に掲載

広報紙から抜き取ってお使いください

郷土味学講座　調理実習

創造コース　丹波篠山の食材を使い、その活用や新しい食文化を創造することを学びます。新しい発見をしたい方、アレンジを学びたい方、食のリーダーを目指す方におすすめのコースです。

回	と　き	内　容	講　師(敬称略)
1	5月26日(火)	台湾料理を作ってみよう	テテジャスミン クッキングスクール 主宰　矢野　典子
2	7月21日(火)	全国学校給食甲子園 優勝メニュー	丹波篠山市　学校給食センター
3	10月　6日(火)	お菓子作り 「茶葉と黒豆のプチ・ガトー」	篠山Kitchen（料理教室)主宰 (13:00 ～ 15:00 開催)　中野　朋子
4	12月　1日(火)	クリスマス パーティメニュー	社会福祉協議会 喫茶ふれあい　酒井　完治
5	令和３年 1月19日(火)	チョコレートでお菓子づくり	お菓子屋 豆畑 オーナーパティシエ　井上　哲夫

伝承コース　郷土料理を作れる人を増やし、次世代へ丹波篠山の食文化を伝えるリーダーを目指します。郷土料理に興味のある方、新しく丹波篠山に居住された方などにおすすめのコースです。

	回	と　き	内　容	講　師(敬称略)
基礎② 平成30年度の献立より 基礎①は令和3年度に予定	1	6月　2日(火)	春のごちそう	全国料理学校協会　教員 栄養士　田中　のぶ子
	2	9月15日(火)	夏のごちそう	
	3	10月27日(火)	秋のごちそう	
	4	12月15日(火)	お祝いのごちそう	
	5	令和3年　2月 2日(火)	冬のごちそう	

	回	と　き	内　容	講　師(敬称略)
応用② 平成30年度の献立より 応用①は令和3年度に予定	1	6月16日(火)	夏のあじわい	全国料理学校協会　教員 栄養士　田中　のぶ子
	2	9月29日(火)	秋のあじわい	
	3	11月17日(火)	冬のあじわい	
	4	12月22日(火)	郷土の味わい	
	5	令和3年　2月16日(火)	よろしゅうおあがり	

※都合により内容などを変更する場合がありますが、ご了承ください。

時　　間　10:00 ～ 14:30（創造コース 10月6日のみ13:00 ～）

と こ ろ　四季の森生涯学習センター西館・調理実習室

対　　象　市内在住または在勤、在学の方で、受講確定者のみ

定　　員　創造コース 50人
伝承コース 基礎40人・応用40人

受 講 料　年間5,000円(材料費含む)
※受講料は、初回講座受付時に納入下さい。
なお、伝承コースはテキスト「よろしゅうおあがり」(1,300円)が必要(公民館・各支所にて販売中)。

申込期限・申し込み方法　6ページ下部に掲載

古文書入門講座

丹波篠山に伝わる地域の古文書から、当時の暮らしと歴史を学び古文書に親しむ、初心者の方を対象とした講座です。

回	と　き	内　容	講　師(敬称略)
1	6月　1日(月)	開講式 古文書解読の意義と心得 古文書の読み方と内容の講義	市立枚方宿鍵屋資料館 学芸員　片山　正彦
2	7月　6日(月)	古文書の読み方と内容の講義	片山　正彦
3	8月　3日(月)	古文書の読み方と内容の講義	神戸大学大学院人文学研究科 学術研究員　松本　充弘
4	9月　7日(月)	古文書の読み方と内容の講義	松本　充弘
5	10月　5日(月)	古文書の読み方と内容の講義	松本　充弘
6	11月　9日(月)	現地研修会	松本　充弘
7	12月　7日(月)	古文書の読み方と内容の講義	片山　正彦
8	令和3年　1月18日(月)	古文書の読み方と内容の講義 閉講式	片山　正彦

※都合により内容などを変更することがありますが、ご了承ください。

時　　間　13:30 ～ 15:30

と こ ろ　丹波篠山市民センター　２階　催事場１・２

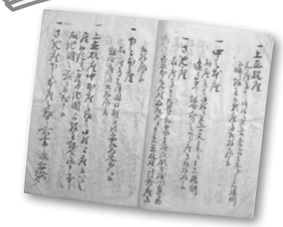
対　　象　市内在住または在勤、在学の初心者で、過去の受講回数が５回以内の方

定　　員　50人

受 講 料　年間1,000円　※開講式の受付でお支払いください。

申込期限・申し込み方法　下記に掲載

地域の古文書から
当時の暮らしと
歴史を研究



申込期限・申し込み方法

申 込 先　中央公民館(四季の森生涯学習センター内)、城東公民館、丹波篠山市役所市民協働課(第２庁舎１階)、各支所、丹波篠山市民センター

申込期限　４月３日(金)

そ の 他　申し込み多数の場合は抽選により決定します。抽選結果は5月8日(金)までに、はがきでお知らせします。

申し込み方法　申込用紙を申込先に提出　※申込用紙は申込先の施設に備えています。

問い合わせ　市民文化講座、おもしろゼミナール　城東公民館☎556-3171 ／ FAX556-3914
郷土味学講座、古文書入門講座　中央公民館☎594-1180 ／ FAX594-1174

Info =公民館からのお知らせ=

まずは一歩！
ご興味があれば是非公民館へお問合せください。

出産予定のお母さんへ

家庭教育支援事業「親子の絆づくりプログラム」

赤ちゃんが生まれたらBPよね！

（ベビープログラム）

【赤ちゃんがきた!（BP1）】
“初めての赤ちゃんを育てている新米ママ”のための、学びとママ友づくりのプログラム
（6月・9月・12月・3月の毎㈫連続4回　13:30～15:30）

【きょうだいが生まれた!（BP 2）】
“第２子以上の赤ちゃんを育てているママ”のための、幼児期の子育てがテーマのプログラム
（R2年度は2～3回実施予定、毎㈫連続5回　10:00～12:00）

★共に２～５ケ月の赤ちゃんとお母さんが対象です。

詳細は広報やチラシでお知らせします。
対象者限定ですので、対象になる回を見逃さないで参加してくださいね。

今田グラウンド改修工事完成！

丹波篠山市立今田グラウンドの利用について、昨年９月よりグラウンド改修工事のため、ご利用いただいている皆さんには大変ご迷惑をおかけしておりましたが、このたび工事が完了し、３月１日より使用できるようになりました。

《改良工事の概要》
- グラウンド改良11,710㎡
- フェンス339m
- バックネット他競技施設
- 本部席

▲本部席

▲今田グラウンド

※スポーツ振興くじ(toto）助成金を活用し、今回の改修工事を行いました。

募集中　第12回
篠山のむかしばなし実物写真館

平氏落人の郷 ～篭 坊～

薬師堂(右奥高台)と五輪塚

昨年７月に後川地区の篭坊温泉にある薬師堂へ平氏の落人をまつった五輪塔を移設して「五輪塚」が整備されました。籠坊温泉は、寿永３年(1184)２月の一ノ谷の合戦で敗れた平氏の落人がこの地へ落ち延びてきた際、付近にあった大徳寺・福泉寺という二つの寺が篭坊(こもりぼう)を利用させたところからその名がつき、傷の手当をした落人たちは、薬師堂を建てたといわれています。また、その一族をまつった「五輪塔」は、元々府県境の「五輪谷」「篭谷」といわれる山中にあり、篭坊の住民でつくる「五輪会」の皆さんが毎年３月の彼岸に参っていましたが、会員の高齢化で法事の開催が年々困難になったために、五輪塔の一部を落人ゆかりの薬師堂のそばへ移設されたとのことです。

募集中　第12回
ささやまあるある 博覧会

～方言は、「〇〇語」といえるかもしれない～

「かっためこうりに遊んだらエエんやれ！」

小春日和の公園で、小学校低学年のお孫さんをつれたおじいさんをみかけました。滑り台で遊ぶお孫さんを見つめるおじいさんの目はニコニコと優しさにあふれ、見ているこちらも優しい空気を感じます。

しばらくすると、子どもたちが滑り台の取り合いで喧嘩を始めました。すると、さっきまでニコニコ微笑んでいたおじいさんの表情が変わり、大きな声で言ったのが「何を喧嘩しとんじょ！一台しかないんやから**かっためこうり**に遊んだらええんやれ！」きょとんとした子どもたちの表情は「じぃちゃん何語！？」といった感じでした。「かっためこうり」とは、「交代で」とか「替わりばんこ」を意味し、特に市東部を中心に使用されていたようです。第二次世界大戦の初期、日本軍の軍事機密の伝達に、「薩摩言葉」を用いて、「これは何語だ？」と連合国を混乱させたように、すでに方言は「〇〇弁」の域を超え「〇〇語」に近いのかもしれません。

＝　作品・写真など募集しています　＝
Ｐ７，８の 募集中 印のついている３つのコーナーは、読者参加型の企画です。
ご自身の作品や、身の回りで気になる情報がありましたら、ぜひとも公民館の職員にお知らせください。ご協力お願いします。
《中央公民館：TEL594-1180　FAX594-1174》《城東公民館：TEL556-3171　FAX556-3914》《各支所もOK》